



住宅用太陽光発電設備を
設置している都民の皆様へ

住宅用太陽光発電設備を 長く・大切に使うために



東京都は、太陽光発電事業に関連する事業者等で構成する「東京都太陽光発電設備高度循環利用推進協議会」（以下「協議会」という。）を設置し、太陽光発電設備の高度循環利用を推進しています。

協議会と連携し、都民の皆さまに太陽光発電設備を長く・大切に使うためのポイントを取りまとめました。

最初の一步として、ごく基本的な内容をわかりやすく平易に記載しています。太陽光発電設備を長く・大切に使うための一助となれば幸いです。

令和8年3月

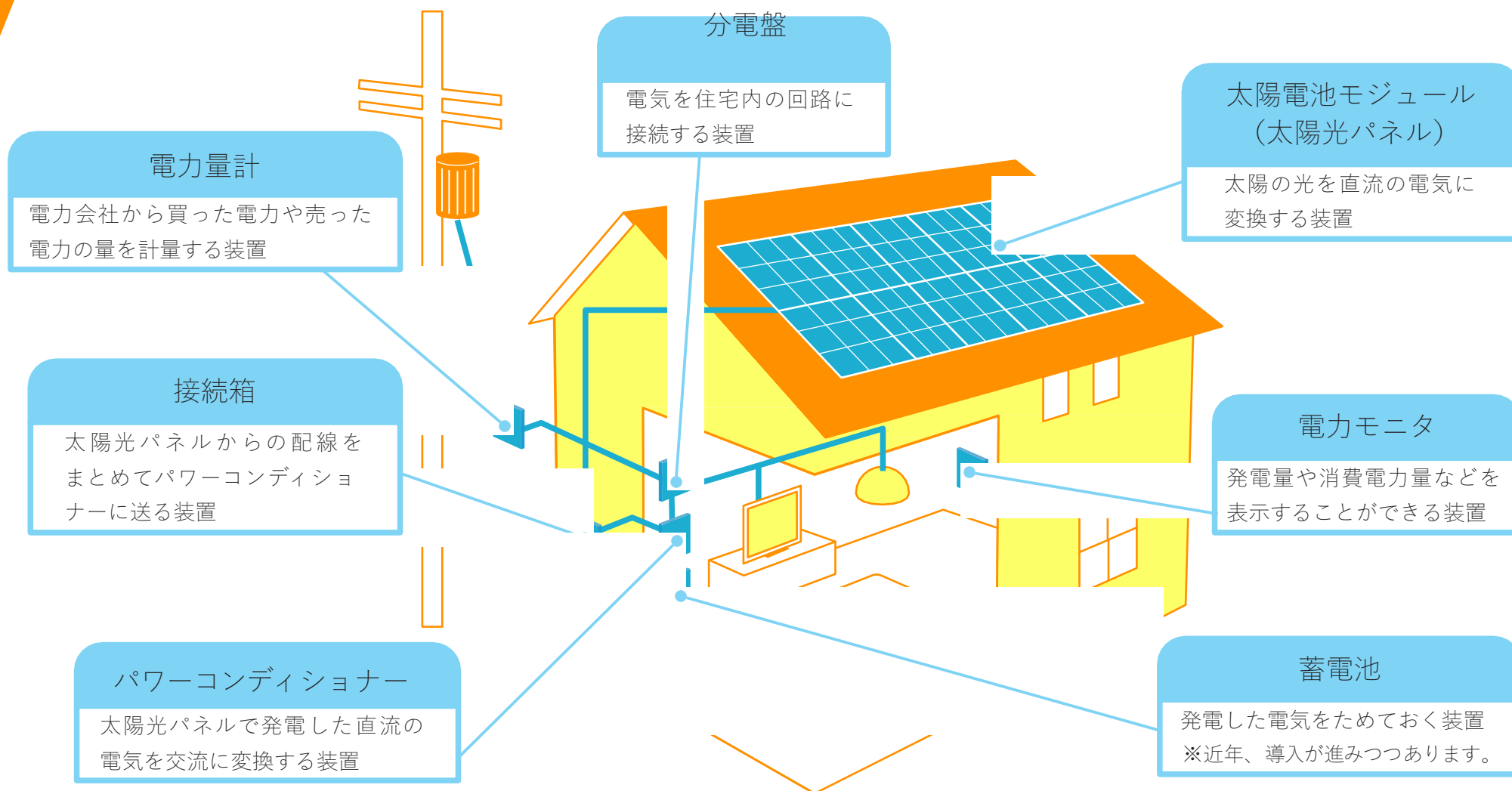
東京都環境局



1

住宅用太陽光発電システム（例）

住宅用太陽光発電システムの代表的な構成例をご紹介します。



住宅用太陽光発電設備を 長く・大切に使うために

まず、はじめに



書類の保管

- ☀ ・ 契約時の設計図面、仕様書
- ・ 製品の取扱説明書、製品の保証書
- ・ 売電のために電力会社と行う連系の契約書等の書類は紛失しないよう、しっかりと保管しましょう。



相談先の確認

- ☀ システムに不具合が発生したり、エラーが表示された際に、どこに問い合わせるかを確認しておきましょう。
- ☀ 販売店・工務店・太陽光発電システムメーカーなどが相談先の候補として考えられます。

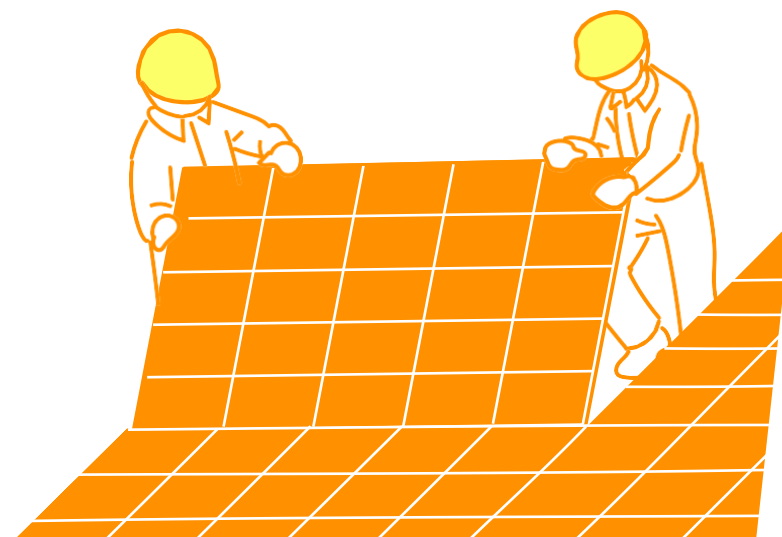
安全のために気をつけること



屋根上の作業

- ☀ パネルの確認や清掃など屋根に上って行う作業は専門の業者に依頼しましょう。

※ 鳥の巣は不具合の原因となる可能性もあるので注意しましょう。



住宅用太陽光発電設備を 長く・大切に使うために

停電時の自立運転

- ☀ 災害等で停電した場合、パワーコンディショナーを操作することで発電した電気を利用できる場合があります。
- ☀ 予め取扱説明書を確認し、自立運転が可能であれば、切り替える方法を確認しておきましょう。
- ☀ 太陽光発電協会のホームページにも、停電時の自立運転機能の使用方法が紹介されていますのでご参照ください。
<https://www.ipea.gr.jp/house/poweroutage/>

POINT

発電電力量は天候や日射量の影響を受けます。年間日射量は10%程度変動することもあります。

月間発電電力量が、業者提供の発電シミュレーション値や前年同月値と比べて、25%程度低下するような場合には、何らかの不具合が生じている可能性がありますので、不具合の可能性が気になる場合は、販売店・工務店・太陽光発電システムメーカーなどに相談をしましょう。

※直接太陽光パネルを確認するために**屋根の上に登るのは危険**です。

発電電力量をチェックしましょう

- ☀ 発電電力量は**発電モニター**(※)などで確認することができます。
- ☀ 毎月、前年同月の月間発電電力量と比較して極端に発電電力量が減っていないか確認しましょう。
- ☀ 年に1回、年間の発電電力量を合計し、前年1年間の発電電力量から大きく減っていないか確認しましょう。
※パワーコンディショナーの機種によって異なります。取扱説明書等で確認してください。

住宅用太陽光発電設備を 長く・大切に使うために

定期的な点検



定期的な点検

- ☀ 一般的な住宅地では、定期的に屋根に登って掃除する必要はほとんどありませんが、「設置1年後」、「5年後」、その後は「4～5年に1度」の定期点検が推奨されています。
- ☀ 点検項目は、設置年数や使用・故障状況により異なります。
- ☀ 販売店・工務店・太陽光発電システムメーカーなど専門業者に相談してください。



パワーコンディショナーの修理・交換など

- ☀ パネルの製品寿命はパワーコンディショナーよりも長いいため、パワーコンディショナーが故障しても修理・交換等を行うことで引き続き太陽光発電システムの利用が可能です。
- ☀ パワーコンディショナーを更新する場合、都はその経費及び工事費の一部を助成しています。詳しくは「太陽光発電システムに係るパワーコンディショナ更新費用助成事業」をご覧ください。



何らかの理由により発電が止まってしまったら

発電や機器に関する異常があると、パワーコンディショナーにエラーコードが出ることがあります。エラーコードが表示された際は**パワーコンディショナーの取扱説明書を確認**し、再起動等を行います。必要に応じて、販売店・工務店・太陽光発電システムメーカーなどに相談しましょう。

被災した太陽光発電システム



危険性

(地震により倒壊した家屋、太陽光発電システム)

- ☀ 地震、余震によるがれきの倒壊、がれき上にある太陽光パネルの落下、パネルの損傷によりガラスが飛散する恐れがあります。
- ☀ がれきと共に堆積している場合や、パネルが破損している場合でも、パネルに光が当たると発電し、パネルやパワーコンディショナー等の破損、ケーブルの断線などにより感電の恐れがあります。



危険性(水害により浸水した太陽光発電システム)

- ☀ 浸水した機器類は水が引いた後でも感電する恐れがあるため、一般的な家電製品が冠水した場合と同様に、そのまま使用（通電）することは危険です。
- ☀ 一度浸水した蓄電池に対し確認や修理を行わずに使用すると電気火災が発生する恐れがあります。

被災後に見た目で異常がなくても

被災による建物損傷がなく、太陽光発電システムも見た目で異常が無い場合でも、漏電など何らかの異常が発生している場合があります。

ご購入の販売・施工業者に連絡し、太陽光発電システムを確認してもらいましょう。



取り外しまでに行う作業

- ☀ 被災した太陽光発電システムには絶対に近づかないようにしましょう。
※夜間でも充電された蓄電池により感電する恐れがあります。絶対に触れないようにしましょう。
- ☀ 被害への対応の実施にあたっては、ご購入の販売・施工業者、ハウスメーカーに連絡し適切な処置を依頼して下さい。
※事前に連絡先を確認しておきましょう。
- ☀ 倒壊した家屋のパネルの発電を防止するためにブルーシート等遮光できるものを用意しておくで安心です。覆う作業は施工業者などに依頼して下さい。

販売業者： _____

TEL： _____

施工業者： _____

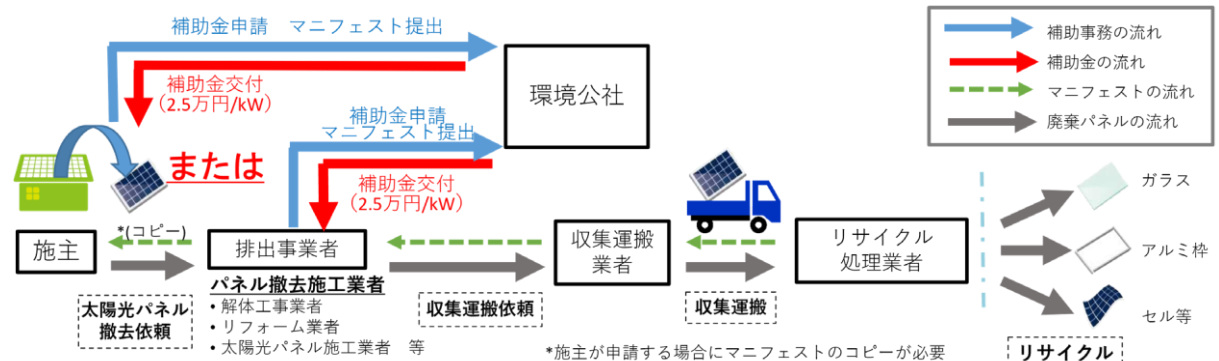
TEL： _____

取り外して処分する場合は 「リサイクル」

近年、将来の本格廃棄が想定されることから、首都圏においても、様々なリサイクル施設が稼働し、事業用太陽光パネルのリサイクルが既に行われています。

リサイクル補助制度

- 東京都は、住宅用太陽光パネルのリサイクルルート確立に向け、リサイクル費用の一部を補助する制度を、令和5年度から開始しています。
- 本制度は、使用済住宅用太陽光パネルの取り外し・撤去を請負う事業者が、取り外した太陽光パネルを東京都が指定する処理施設でリサイクルする場合に、費用の一部を補助するものです。
- 使用済住宅用太陽光パネルの取り外し・撤去を行う場合は、取り外しを依頼する業者とご相談の上、リサイクル補助制度をご活用ください。



太陽光パネルを取り外して処分する場合は、取り外しを依頼する業者に相談し、リサイクルをお願いいたします。東京都が指定している処理施設は以下の10施設ございます。

※ 使用済太陽光パネルの取り外しを行った後、建物を解体せず継続してお住まいになる場合は、屋根の補修や防水処置が必要になりますのでご注意ください。

※ 太陽光パネルにはシリアルナンバーがあるため、不適切な処理や投棄は排出者を追跡確認することが可能です。

①株式会社アロウズ https://arrows9.co.jp/	⑤J&T環境株式会社 https://www.jt-kankyo.co.jp/	⑨水海道産業株式会社 https://www.mitsukaido.net/
②株式会社ウム・ヴェルト・ジャパン https://www.u-w-j.co.jp/index.html	⑥株式会社杉浦土木 https://sugiuradoboku.com/	⑩株式会社リーテム https://www.re-tem.com/
③環境通信輸送株式会社 https://www.ktyhon.co.jp/	⑦東京パワーテクノロジー株式会社 https://www.tokyo-pt.co.jp/	
④株式会社国際資源リサイクルセンター https://www.e-recycle.co.jp/	⑧株式会社浜田 https://www.kkhamada.com/	

